



中津市監査委員告示第 1 号

地方自治法第199条第7項の規定により、令和元年度財政支援団体監査の結果を別紙のとおり公表する。

令和2年1月10日

中津市監査委員 永 松 末 利

中津市監査委員 林 秀 明

# 財政援助団体監査結果報告書

## 1. 監査の対象及び監査の期間

監査の対象		監査の期間
青にこだわるまちづくり実行委員会	左記の財政援助団体が令和元年度（平成31年4月1日～令和元年11月29日）に本市から交付を受けた補助金に係る出納その他の事務	令和元年12月1日～令和2年1月10日
耶馬溪新緑まつり実行委員会		

## 2. 監査を実施した監査委員

永松 末利 ・ 林 秀明

## 3. 監査の方法

監査にあたっては、監査の対象の財政援助団体及び当該補助金を所管する部課に係る出納その他の事務の執行が適正に行われているかどうかについて、書面監査及び関係者からの説明聴取により実施した。

## 4. 監査の着眼点

補助金の交付目的及び補助対象事業の内容は明確か、交付額及びその時期、方法、手続きは適正であるか、財政援助団体への指導監査は適切に行われているか、また、財政援助団体における支出の会計経理は適正か、領収書等の証拠書類の整備は適切か、補助事業が計画的且つ、交付条件に従って実施され、十分な効果が挙げられているか等に重点をおき監査を実施した。

## 5. 監査の結果

財政的援助に係る出納その他事務の執行について監査した結果は、次のとおりである。

各事業は公益性、公平性、有効性があり事業計画及び補助金交付条件に沿って実施され、公益事業として一定の効果を示し、概ね適正に事業の執行及び事務処理が行われていた。

しかしながら、一部の事務に改善を要する事項が見受けられたので、以下の指摘事項について十分検討し、措置状況の具体的結果を令和2年2月7日（金）までに所管課より文書にて報告されたい。

また、そのほか口頭で指導した事項についても十分検討し、改善に努められたい。

なお、今回の監査は、財政援助団体を対象に行ったものではあるが、所管する担当課の指導体制等に不十分な点が見受けられたので、事務の改善を要望するとともに、あわせて交付団体への指導の強化を図られ、今後の事務処理に万全を期されたい。

## 【青にこだわるまちづくり実行委員会】

(1) 補助金等名 中津市周辺地域振興対策事業補助金

(2) 所管部局・課 本耶馬溪支所 地域振興課

(3) 財政援助の目的

当補助金は、周辺地域の住民が主体となって実施する地域の振興、活性化等に資する事業に要する経費を市が補助することにより、周辺地域の振興及び活性化を図り、当該地域の住民が安心し、元気で活気に満ち、地域に誇りを持って暮らせるようにすることを目的としている。

(4) 事業の概要

I. 事業費 1,005,248円

II. 事業内容

平成31年4月27日（土）にレストハウス洞門駐車場にて、「『本耶馬溪で遊ぼう』ネモフィラフェスティバル」を開催、青の洞門の景観と青い花畑の散策を自由に楽しめるネモフィラガーデン、ネモフィラ栽培協力団体や地元商店による出店、各種音楽イベントなどを行い、春の観光スポットとして青の洞門周辺地域の振興及び観光振興を図った。

（当日来場者数 約2,500人 ・4月中旬～5月上旬 約16,000人来場）

III. 財政援助額 1,000,000円

(5) 監査の結果

I. 団体に対する事項

（指摘事項）

①事業費補助については、交付決定後に着手することが原則でありながら交付決定前にチラシ印刷などが行われていた。

また、要綱で補助対象外経費としている食糧費を補助対象経費として計上されていた。

補助対象経費について、適正な実績報告の再提出を求める。

②出入金の伝票を作成しておらず、会計担当者みでの判断で出入金が行われているように見受けられ、チェック体制が不十分である。

出入金の伝票を作成し、会計処理のチェック体制の強化の確立を求める。

③イベント会場の設営費用などの経費が支出されていることから、出店料の徴収や協賛金を募る等、自助努力の推進を図ることを求める。

（要望事項）

④今後のイベントの内容の充実を図るため、イベント会場にアンケート用紙を設置するなどの検討を望む。

II. 所管課に対する事項

（指摘事項）

①補助金の交付決定や額の確定は、交付申請書の収支予算書や実績報告書の収支決算書等を適確に審査したうえで行わなければならないが、補助対象経費に該当しない事業内容が含まれていた。

今後は、交付申請書や実績報告書等について、より一層記載内容を精査確認のうえ、適正な事務処理を求める。

(要望事項)

②毎年4月のイベント開催であるため、4月初旬に事業着手できるよう、早期の補助金交付の申請を促すなど指導を強化し、より補助事業の成功の後押しを図ることを望む。

## 【耶馬溪新緑まつり実行委員会】

(1) 補助金等名 中津市観光イベント支援補助金

(2) 所管部局・課 耶馬溪支所 地域振興課

(3) 財政援助の目的

当補助金は、耶馬溪の新緑・桜の素晴らしさと郷土料理及び特産品を広くPRするイベントの実施に要する経費を市が補助することにより、耶馬溪の歴史と自然のイメージアップ及び観光振興を図ることを目的としている。

(4) 事業の概要

I. 事業費 1,383,391円

II. 事業内容

平成31年4月14日（日）に耶馬溪ダム記念公園「溪石園」にて、「第28回耶馬溪新緑まつり」を開催、若葉もみじや新緑の樹々の中を歩く「耶馬溪ダム湖畔ウォークラリー」、地元の特産などを提供する「食の祭典」や各種ステージイベントなどを行い、新緑の耶馬溪の観光振興を図った。

（当日来場者数 約150人 ・ウォークラリー参加者 37人）

III. 財政援助額 1,337,000円

(5) 監査の結果

I. 団体に対する事項

（指摘事項）

① 出入金の伝票は会計担当者の押印だけで、会計担当者のみでの判断で出入金が行われているように見受けられた。

会計の事務決裁規程を設けるなど会計事務のチェック体制の見直しを求める。

② チラシやポスターの印刷費用など、数社の見積り執行による経費節減を求める。

③ ウォークラリー募集人数は50人うち参加者37名に対し、上位10人に景品（8,500円～1,100円）と併せて商品券（2,000円～1,000円）を贈呈している。

ウォークラリー参加者は1,000円の参加費用を徴収しているが、全員に1,000円分の食事券を配布し実行委員会がその費用を負担している。

参加費用を大幅に上回る景品の内容や商品券の配布の必要性の見直しを求める。

④ イベント会場の設営費用などの経費が支出されていることから、出店料の徴収や協賛金を募る等、自助努力の推進を図ることを求める。

⑤ 来場目標1,000人に対し、来場者数は約150人と、目標数を大幅に下回っている。集客につながる開催日程や会場設定、イベントの内容を所管課と十分協議検討するよう求める。

（要望事項）

⑥ 今後のイベントの内容の充実を図るため、ウォークラリー参加者の感想の聴き取りや、イベント会場にアンケート用紙を設置するなどの検討を望む。

## II. 所管課に対する事項

(指摘事項)

①来場目標1,000人に対し、来場者数は、平成29年度は約350人、平成30年度は未開催、令和元年度は約150人（天候が雨）と、目標数を大幅に下回っている。

補助金の削減を含め、集客につながる開催日程や会場設定等、魅力あるイベントになるよう実行委員会と十分協議検討し再構築することを求める。

②中津市のホームページに新緑まつりの開催告知はしていたが、観光カレンダー及び新緑特集のコーナーに新緑まつりを紹介する記事は掲載されていなかった。また、中津耶馬溪観光協会のホームページに新緑まつりの記事はあったが、2年前の会場を案内しており記事が更新されていなかった。

行政側の取組みとして、観光イベントが成功するよう関係機関と連携を図ることを求める。